

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・持続可能な社会の創造 ・郷土教育・キャリア教育 ・ICT教育・プレゼン教育 ・子どもの育成	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXと地域連携の推進 ③学校の自己実現を支える教育の推進 ②子どもの心、健やかな体を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	ふるさとを愛し 心豊かに自立する子	対話を通して 自分の考えをつくり 動き出す力	意欲や関心をもって学び続ける子 ①④	「やってみたい」「もっと考えたい」「解決したい」と意欲や関心をもって学び続ける子の育成。	子どもの意識の沿ったワクワクする課題づくりと、交流の出口の姿の共有をする。そして、その子なりの方法で解決できるようにする。		
						相手意識、目的意識のある対話や根拠をもった対話を授業の50%以上にする。		
					④ ICTや図書資料の有効的な活用	朝活動や授業終末の習熟の反復練習時間を確保する。また、個に応じ、学習方法の選択ができるようにする。		
				願いや目標をもち挑戦し続ける子 ①②	「こうなりたい」「もっと良くしたい」と願いや目標をもって挑戦し続ける子の育成	保護者、児童、担任で「なりたい自分」設定し、月ごとになりたい自分を達成できるよう、全児童・職員でそれぞれの「なりたい自分」を共有し、支援や行動の価値づけ、良さを広める活動をする。		
						縦割り活動を活かし、高学年に限らずそれぞれの学年がリードする場を設けることで、児童の創造性や自治力を育成する。		
					①⑤ 自分や他者を大切にする心の教育の推進	全教育活動を通し、多様な考え方や生き方について理解できるように指導し、心のアンケートやマイサポーターとの懇談を活用し、丁寧かつ迅速に対応することで学校が楽しいと言える児童を100%にする。		
				地域との連携 ②③④	ふるさと学習を核とした地域との連携	児童が、たくさんの地域の方に守られたり支えられたりしていることに気づき感謝できるよう、地域の先生の掲示をする。		
						ふるさと学習において地域のよさや課題を学び、奥飛騨マウンテンバスやかまくら祭りなど地域の活動に参画することを通し奥飛騨をPRしたり盛り上げたりする。		
					⑤ 起こり得る健康被害に対する保健安全教育の充実	学校運営協議会や北稜校区保小中連会の会のつながりを生かし子どもを見守る。また非常時において職員も児童も迅速な対応で命が守れるように日頃の訓練を見直し改善を図る。		

学校運営協議会における主な評価内容

確かな学力の向上・ふるさと学習の充実・命を大事にした教育活動の継続